



【教育指針】：教育目標

本校の校歌には、「世界感覚に生きる」「産業振興に生きる」「人間形成に生きる」という歌詞があり、まさに「生きる力」の育成を唱えている。また、校訓「奮起・自主・協同」とは、「自主」は「自ら生きる力」で、「協同」は「共に生きる力」であり、「奮起」はそれら「生きる力」をつけるための「学び」をささえる気力である。その「学び」でもっとも大切なのが、「愛する」ことではないかと考えた。「愛」は心を満たす特別な感情であり、人やものに特別ないたわりと優しさで接することである。そこで、教育指針を『愛：生きる力』とした。そして、その「愛する」思いを実践していけるようにするために、教育目標を『他人(ひと)を愛し、自分を愛し、故郷(ふるさと)を愛す』とした。

【目指す生徒像】：学校教育

学校全体が愛情いっぱい、笑顔いっぱいになるよう、愛を広げていくには、3つの教育で4つの能力の育成が必要である。

◇「他人を愛し、係わる生徒」…係わる教育

他人との接し方を身につけさせ、勇気を持って仲間と積極的に係わろうとすることで、人間関係能力を育成する。

◇「自分を愛し、高める生徒」…高める教育

今の自分を見つめ、元気なところとからだのバランスを高めてさせることで、自己管理能力を育成する。また、根気よく学び方や考え方を身につけさせ、その活用力を高めていくことで、課題解決能力を育成する。

◇「故郷を愛し、夢見る生徒」…夢見る教育

自分の周囲の環境へ関心を持たせ、憧れる自分のイメージを夢見させることで、将来設計能力を育成する。

【目指す学校像】：学校運営

学校は、「速やか」「和やか」「穏やか」の3つの様子がみえる『素直な心』を備えた集団でいかなければいけないと考える。

◇「速やかな行動」

厳格な心(考えや動きが何のものにもとらわれない)を持ち、他人のことも考えて臨機応変・自由自在に行動できる。

◇「和やかな仲間」

寛容の心(よく人をゆるしいれる)を持ち、お互いの存在を認め合い、話し合える仲間である。

◇「穏やかな心情」

謙虚な心(たかぶることがない)を持ち、冷静に物事を見る平常心や人間本来が持つ慈悲などの心情が保てる。

【目指す教員像】：教員育成

教員は、学校の実態にあった教育目標の達成のため、学校運営や自己研鑽に励み、3つの「ひ・か・り」となるよう心掛けていくことが必要である。

◇「閃(ひらめ)く知性」

教育目標達成のため、多様な教育実践案が考察できる閃く知性を持ち、課題への状況把握・対応策の思考・判断・実行が迅速にできる。

◇「耀(かがや)く笑顔」

すべての場において耀く笑顔で接し、すべての人の言動を広く受け入れる包容力を備える。

◇「凜(りん)と[した]態度」

生徒と地域に貢献していくという強い信念と、責任はすべて自分にあるという覚悟を持ち、凜とした態度が取れる。

□「和の心」～日本人として～

すべての学びによって、日本人として「和の心」を持ちたい。それは、「調和」「融和」「共和」の3つの「和」である。その為には、強い愛が必要で、その愛によって「大きく和する」という極めて積極的で、前向きな日本人の心が持てることを期待したい。

◇「調和」…互いのつりあいがとれるよう心掛けながら、一緒に作業をする

◇「融和」…互いが自分を語り、心で聴きながら、互いの個性を尊重し合う

◇「共和」…互いに一人一人を大切に、喜びや悲しみをすべて分かち合う